

会員の声：「昼間点灯」による事故防止への取り組み 西山 斉

弊社では、二輪車同様に事故防止の意味から昼間でもヘッドライトを点灯させ走行しております。対向されますドライバー様より、消し忘れとご心配いただき、パッシング等により多くのご忠告を頂戴しており、大変恐縮しているところです。この昼間点灯は、北欧諸国、カナダ等で行われ、車両、歩行者に対しての視認効果が高まるとともに、点灯させるという作業により、気持ちの入れ替え、引き締めにつながるということで、運転者の事故防止意識も強まることから大きな成果を上げている安全対策のようです。日本でも九州方面より全国的に普及を見せつつあり、大手宅配事業者（佐川急便）の取り組みも有名です。お隣の長野県では年末年始の約50日間の短期間ではありますが、15事業者で実験した結果、点灯走行以前と比較し、事故件数は4分の1までに激減したことから長野県警主導で全県的な運動を展開しております。リアウインドウには「昼間点灯」のステッカーを掲示しておりますが、対向される皆様には、タクシー車両の形状がセダン型で、法規、運転上の問題もあり、ヘッドライトを点灯させている意味をお知らせすることが困難なことから、最近、機会があるとその話をするようにしています。弊社の取り組み以降、昼間点灯をする県内のタクシー事業者も出てきました。運輸関係に限らず、地域でも昼間点灯の輪が広がることで、事故が減少すれば良いとも考えております。その為にも、事故防止に対する意識を強く持ち、実績を残したいと安全運転に努めさせております。何気なく昼間点灯について感想を運転者に聞いてみましたら、昼間に点灯させるという行為は事故防止を意識せざるを得ないとのことでした。昼間からヘッドライトを点灯させている車は極めて少数だけに違和感を持たれる方もいらっしゃると思いますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。



- 4月16日例会：卓話「糖尿病発病は予防できるか」小島茂男会員
- 4月23日例会：卓話「泌尿器科の成人病」平岩医院院長 平岩三雄様
- 4月30日例会：夜例会 三条ロイヤルホテル 点鐘午後7時
- 5月7日例会：環境保全月間 卓話 小林良範様
- 5月14日例会：卓話 小林 満会員・淵岡 茂会員
- 5月21日例会：地区協議会報告会
- 5月28日例会：卓話 小林幹扶会員



三条北ロータリークラブ週報

人類が 私たちの仕事

例会日
2002. 4. 8
累計 No 748
当年 No 39

国際ロータリー会長 リチャードD. キング 第2560地区ガバナー 野沢謹五
ホームページ <http://www2.next.ne.jp/2560nzwa>

会長／木 宮 隆
幹事／山 中 正
SAA／長谷川 恵慈

例会日／火曜日 12:30～13:30
例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX 34-8114
事務局／三条市西四日町3-15-34 ヒューマン・バーバー内 ☎35-7160 FAX 33-8972
メールアドレス north@sanjo-nrc.org ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org>

行事：「ロータリー雑誌月間」3RC合同講演会

「やる気を起こす褒め言葉の効用」落語家 桂米蔵様

出席：本日の出席 58名中 45名（内記帳9名）

先々週の出席率 58名中 50名 86.21%（前年同期79.31%）

【3月の出席状況：会員数58名 例会数4回 平均出席率78.03%（前年同月85.12%）】

先週のメイクアップ：4月3日 三条RCへ 山上茂夫さん

6日 五泉RC40周年記念式典出席 木宮 隆さん、中條耕二さん
山上茂夫さん

7日 五十嵐川クリーン参加

（敬称略）阿部勝子、石川友意、岡田 健、木宮 隆
久保 博、小林繁男、坂爪茂雄、笹原壮玄
佐藤弘志、高橋彰雄、中條耕二、梨本清一
本間建雄美、山中 正

8日 三条南RCへ（敬称略）山口龍二、羽賀一夫、石川勝行
高橋彰雄、小林 満、佐藤弘志
佐藤啓策

ビジター：加茂RCより 永井賢一さん

三条RCより（敬称略）渡辺喜彦、高森章仁、樺山 仁、松谷晃吉、渋谷健一
日戸平太、捧賢一、五十嵐晋三

三条南RCより（敬称略）弥久保藤雄、船久保孝志、大久保秀男、飯山勝義
田代徳太郎、目黒義雄、鈴木 武、池田 実
平岡豊樹、渡辺一郎

会長挨拶：吉田 行雄

今月は雑誌月間です。中條AGにご相談申し上げ市内3RCの合同講演会を開催させていただくことに致しました。今年度は南クラブが主管年度になっておりますので私が代表して会長挨拶を申

し上げます。

映画についてお話をさせていただきます。私は映画が大好きで、今でも月に2作品程は観ています。映画産業という特殊な業界の中、その中心を占めているのは皆さんも良くご存知のとおりアメリカです。映画の都ハリウッドで量産されるアメリカ映画は子供から大人まで世界中の人々を魅了してやみません。端的に申し上げれば世界の映画産業はアメリカの一人勝ちと言っても過言ではないでしょう。そして、他、世界各国の弱小の映画会社はその日その日の資金にも事欠き、ほとんど観客の入らない映画を細々と作製しているのが実情です。

映画は電気製品、車、カメラ等々の品物の持つ単なる利便性というものとは違って、見る人の考え方、生き方に大きな影響を与えます。映画は文化であり、文明なのです。ですから世界の人々が知らず知らずのうちにアメリカ映画からアメリカ的文化、考え方、生き方を吸収していると言ってもよいと思います。世界が自国の独自の文化を保護して行く上に、アメリカ映画が深く結びついてくるのです。そして厳しい規制も受けています。21世紀に向けて大切なことは各国の独自の価値、文化を守り発展させてゆくことなのです。イギリス、フランス、中国など世界の主流と言われる国々は自国の歴史、文化、考え方を重んじ、世界がアメリカ一色の価値観で染まる事を極端に嫌っています。アメリカ映画が最近嫌われている理由に、ここ10～20年近く過激さを追求しすぎたことが上げられます。殺人、SEX、麻薬等、最近のアメリカ映画の内容はアメリカ国内でさえ批判が多く飛び出している程です。

さて、日本ではどうでしょうか。アメリカ映画産業全体の約15%以上は日本国内で売上を上げています。日本映画はアニメは別としてほとんどの作品、会社がアメリカに押しつぶされているというのが現状です。若者にとって映画というのはアメリカ映画なのです。最近中国や韓国でも良い映画が作られていますなかなか見る機会はないというのが実際です。若者の大切な思春期を日本の文化ではなく、アメリカ映画によって育てられていると思わずに入られません。世界中どこの国を見渡して見ても日本程アメリカ文化のアメリカ映画を無条件に受入れている国はありません。日本独自の良き文化をはぐくみ育てゆきたいと願います。

映画産業が産声を上げて約80年以上、映画は不況の中にあっても、戦争の中にあっても発展し続けてきました。今や、アフガニスタンでは映画館は連日超満員だと聞きます。映画は現実からの逃避、架空の世界に旅立たせてくれます。

いろいろと映画についてお話致しましたが、最後に全てを考えあぐねた上で、最近見た映画の中から私がかもっとも感動した作品をご紹介します。今年度アメリカ アカデミー賞受賞作品「ビューティフル マインド」。この作品はN n o s e x , n o 殺人、n o 薬。家族愛、友情愛を描きながら面白い場面の多い作品です。機会がございましたらぜひご覧になっていただきたい作品です。

幹事報告： 無し

ニコニコボックス： 8日現在累計 882,000円

コメントなし

3 R C 合同講演会： 「やる気を起こす褒め言葉の効用」落語家 桂米蔵様

講師紹介

落語家（大阪生まれ）桂米朝に入門

ヨイショ倶楽部創立主宰 甲府社長大学院創立主宰

著書「魔法のスプレー 褒め言葉の効用」

講演内容

もしも一つの言葉が

- * 子供の才能の発芽を促進させる
- * 社員のやる気を引き起こす
- * 夫婦和合、親子のコミュニケーションの良化
- * 女性にもてる
- * 人脈を作る
- * 会社の同僚、上司、部下とのコミュニケーションの良化
- * セールス最良の武器

のような効果をもたらせるとしたらどうでしょう。そしてそれは夢ではなく現実をもたらす、それが褒め言葉です。人間は誰しも廻りの人に認められたいと渴望しており、褒め言葉はそのニーズを最高に満足させてくれるプレゼントです。

※講演会の記録テープを事務局に保管してあります。ご希望の方はお申し出ください。

